

岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

令和2年 1月 8日

岡山市長 大 森 雅 夫 様



フリガナ ダイニフジダッカダイボサカ イイケンカイ
 団体名 第二藤田学区大規模災害対策委員会
 所在地
 連絡先
 フリガナ
 代表者

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
 ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ☒ ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	大規模災害に備える安全安心な二藤作り
事業実施小学校区・地区	第二藤田小学校区
事業実施回数	新規 ・ <u>継続</u> 4回目 / 【2017年度から】
課題	※地域の実情と解決をはかりたい課題、事業実施の必要性について記載してください。 干拓地である藤田地域は海拔0m地帯であり、緊急に避難できる高い建物もほとんど無い農村地域である。30年以内に80%の確率で起こるとされている南海トラフを震源とする大規模地震が起これば、浸水・液状化・津波などによる甚大な被害が予想される。この様な大規模災害に対応し、備蓄や一時避難施設の拡充が求められる。学区内住民の意識もまだ低く、引き続き各種訓練や研修を通じて自主防災組織の拡大など改善していくことが求められている。
事業の目的	※事業を実施する「目的」を記載してください。 大規模災害等の発生に対応できる第二藤田学区の体制を整備し、学区内住民の防災意識向上をはかることで安全安心な地域作りを推進することを目的とする。

事業の内容	※具体的に実施する活動内容を箇条書きで記載してください。 ①学区内各町内会を基礎とした自主防災組織の結成促進及び内容の強化。 ②防災資機材の整備や備蓄を行う。 ③町内会単位の防災リーダー育成のため、各種研修を行う。 ④3月に行われるウォーキングと炊き出し訓練では、簡易担架の作り方やAED、簡易ベッド作り、簡易おにぎり作り、災害用伝言ダイヤル体験など防災訓練とともに気軽に参加できる企画として笹ヶ瀬川河川敷ウォーキングを行う。 ⑤各種取り組みで出された意見や提案に基づき、行政などと連携して避難所開設訓練や研修に取り組む。 ⑥学区内の危険箇所(堤防・用水等)の点検と対策の検討、緊急避難場所(簡易避難塔等も含む)の確保などとりくむ。 ⑦昨年実施した区役所との懇談に続き、市役所との懇談も取り組む。
期待される成果・目標	※事業実施することで、変化すること、期待している成果、事業実施後にどこまで到達しておきたいか「目標」を記入してください。 ①学区内住民の防災意識と自助共助の意識の向上。 ②学区内で不足している防災知識の向上、資機材の充実など課題の明確化を計る。 ③継続した取り組みを通じて学区内町内会の自主防災組織率向上のために取り組む。 ④各種訓練や研修を通じて、全町内会で防災関連リーダーの育成を図る。
企画などの工夫	※通常、日常的に実施している事業をそのまま提案された場合は、対象とならない可能性があります。区づくり推進事業の申請にあたって、何をどう変えたのか、どこに活動の目的や対象をしばったのかなど、企画にあたっての工夫をお書きください。 ①二藤体育館を中心にした避難所開設訓練をおこない、災害時に機敏に取り組めるよう訓練する。 ②真備町の災害から学ぶとともに、この間自主防災会を立ち上げた町内会の経験を出し合い、防災会立ち上げを促進する。
協働する団体等	※事業実施にあたり協働することを想定している団体・企業・大学等の名称とその団体間の役割分担について記載してください。あるいは提案団体が既に協働組織となっている場合は、事業実施メンバーの備考欄に団体名をご記入ください。 ・二藤学区内各種組織や、緊急避難場所として協定を結んでいる企業などとの意見交換をおこなう。また市を通して企業に協力をお願いし避難場所の拡充にとりくむ。
事業の情報公開	※区づくり推進事業は、広く区民への情報提供することが義務づけられています。地域住民をはじめ区民への情報提供、あるいは情報公開の仕方についてご記入ください。 ・公民館便りや回覧などでお知らせするとともに、市の広報などに掲載していただけるよう取り組む。また、小学校やこども園・中学校などへも積極的に知らせる。

事業スケジュール (企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。)

月 日	活動内容
4 月	・ 第二藤田学区大規模災害対策会議の総会開催。
5 月	・ 事務局総務関係会議(役員会)開催 防災訓練や自主防災会結成を進める町内会などの検討
6 月	・ 5日、町内会長会議で自主防災会結成の経験交流を図る。 ・ 28日二藤小体育館にて避難所開設訓練の実施。
7 月	・ ふじた桃太郎どんぶらこまつり実行委員会と併せて防災コーナーについての検討を行う。
8 月	
9 月	・ 21日真備地域での実態と教訓、他地域の取り組みを学び、研修と自主防災会立ち上げの交流をおこなう。
10月	・ 「ふじた桃太郎どんぶらこまつり」に防災コーナーを設け防災グッズの展示と実演(簡易トイレ・浄水器・水なしシャンプー、非常食の試食など)を行う。 171災害用伝言ダイヤルを祭り参加者一斉に体験してもらう。
11月	・ 役員会開催、自主防災会結成状況の検討と具体化 ・ 岡山市との懇談をおこなえるようにする。
12月	・ 委員会開催、来年度計画と今後の取り組みについて検討を行う。
1 月	・ 学区新年互例会にて取り組みの紹介
2 月	・ 炊き出し訓練とウォーキング実行委員会の開催
3 月	・ 炊き出し訓練とウォーキング実施。AED操作、簡易炊きだし、簡易おにぎり作りとともに簡易トイレの展示、171災害用伝言ダイヤル練習など緊急避難時を想定した訓練と体力作りのためのウォーキングを行う。)

収 支 予 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	前年度決算 (決算見込可)	予 算	備 考
岡山市補助金	104,000	113,000	(100 円未満の端数切捨て)
実施団体負担金			
参加者負担金	20,500	25,000	研修参加費
協賛金			
寄付、他収入	83,984	88,468	連合町内会等
計	208,484	226,468	

◆ 支 出

単位:円

費 目	前年度決算	予 算	備 考
消耗品費	43,223	101,468	別紙参照
食料費	22,500	50,000	研修等での弁当・お茶など
印刷製本費	3,345	20,000	会議資料・案内印刷他
通信運搬費	2,666	15,000	案内ハガキ・切手他
使用料・賃貸料	7,450		入館料、駐車料金
原材料費		5,000	炊き出し材料費
報償費		15,000	講師謝礼
保険料	9,300	20,000	各種訓練・調査時の保険代金
旅費	120,000		
その他			
計	208,484	226,468	

◆ 概算交付の要否 (いずれかに○をしてください)。(補助金額が20万円を超える場合のみ)

補助金の概算払いを	希望する	希望しない
-----------	------	-------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください

財政がないため是非よろしく願いいたします。

注①：前年度決算額が確定していない場合は、見込み額を記入してください。

注②：支出の費目は、消耗品費・食糧費・印刷製本費・旅費交通費・通信運搬費・謝礼金・会場使用料・保険料など適当な費目に分けて記入し、備考に積算内訳を記載してください。

※記入欄に書ききれないときは、別紙として添付してください。